

いまを生きるすべての女性たちに輝いてほしい。さまざまな企画を通して、“笑顔”を増やしていきます。

仙台商工会議所女性会 常任委員
株式会社アートセレモニー
代表取締役社長

さとう りつこ
佐藤 律子氏

プロフィール

昭和47年生まれ。塩釜市出身。血液型O型
短大卒業後、建設機械会社に就職。あるきっかけからウエディングプランナーに転身、仙台発のレストランウエディング事業で驚異的な売上げを達成し、独立。1,000組以上のカップルを手がけた経緯から、恋愛結婚講座を開講。婚活のスペシャリストとして注目される。近年、恋愛結婚心理をビジネスや教育に応用し、大手企業や高校、大学で「異性間コミュニケーション研修」を開講し、注目を集めている。



「企画」の楽しさを知り、結婚式出席を機に転身

「会社員からウエディングプランナーに転身されたと伺いましたが、きっかけはどんなことだったのですか。」

短大卒業後、建設機械会社の経理事務として就職したのですが、経理が苦手なことに就職してから気づいたんです（笑）。でも、会社の雰囲気は、ある社員が企画するレクリエーションに毎週末皆で参加するほど良かったのです。そんなあるとき、企画をしてくれた人が転勤してしまっただけに、その楽しみがなくなりかけました。そこで、私が立候補して企画を立てるようになり、ゼロから何かを企画する楽しさに目覚めたわけです。「これが仕事だったらいいのに」と思っていたとき、初めて友人の結婚式に出席し、その絢爛豪華な世界に驚きました。注意深く見ていると、料理をサービスする人、新婦の世話係と、いろいろな仕事があることを初めて知りました。そして、その結婚式に出席した同じ月に会社を辞め、結婚式場に転職したのが、この道に進むきっかけになりました。

いまから約18年前の話ですから、結婚情報誌なども全くありませんでしたし、ウエディングプランの知識を得るために、図書館に行って勉強したり、実用書を買って読んで読みふけったり。できるだけたくさん情報を収集して、

ニーズに合った企画を立て、提案することがとても楽しかったのです。その後、引き抜きなどを経験しつつ、いくつかの結婚式場でウエディングプランナーとしての経験を積み、いまの会社を立ち上げました。

誰もが関心をもつ異性間の付き合い方

「考案された「異性間コミュニケーション」が、多くの企業研修で活用されているようですが、内容を教えてください。」

「異性間コミュニケーション」とは、文字通り、男女間の関係を円滑にするための方法です。ですから、恋愛や結婚に限ったことではなく、ビジネスシーンにも、親子関係にも存在しています。そこで社会学や環境学、心理学、生物学にいたるまで、あらゆる側面から「男女」について勉強しました。そのエッセンスを持ち寄ってつくったのが、「異性間コミュニケーション」という手法で、これを商標登録しました。

「この研修の依頼を受けるのは、どのような企業が多いのですか。」

男女間の話はすべての人に関係がありますので、講演依頼という点では、あらゆる企業や団体から依頼を受けます。研修に取り入れたいとおっしゃる



1,600人も女性が来場し、大盛況のうちに終了した「ウーマンフェスタ2014」会場の様子。

企業は、例えば、女性社員が多いとか、女性に特化した商品を扱う企業、またその逆で男性向けの商品を扱う企業、女性社員のキャリアアップを推奨している企業など、さまざまです。おかげさまで、全国から講演や研修のご依頼を頂いており、私一人では対応しきれなくなり、昨年からは認定講師を育成し、現在、7人の講師が誕生しています。

講演では、よく女性と男性の働き方のモチベーションは同じではなく、性差から異なっていることを知りましょうという話をします。「男性はルールに従い、女性は好き嫌いで従う」という説があります。「だから女性に好かれるようになりましょう」というように、異性間とは決して難

しい内容ではありません。

女性が結婚して、出産して、働き続けるということにいつの世も問題が発生し、いつまでも解決されないことに、私は「いつまで問題にしているんだらう」と思うのです。それを解決するためには、男性がつくった仕組みを女性のために作り変えたり、組み立て直したりすることが必要だと講演でお話しています。

「コッコッコ積み重ねて」

「この春、女性がもっと輝ける社会づくりを目指した市民活動「ウーマンフェスタ2014」の実行委員長を務められました。反響はいかがでしたか。

「女性が好きなもの・学びたいことをテーマに、講演あり、ブース出店ありという内容で開催しました。参加者の対象を「働く女性」とか、「お母さん」と区切らずに、「すべての女性」としたこと、1,600人以上の方に参加していただくことができ、大盛況でした。私も会員である仙台商工会議所女性会にも、このフェスタの理念にご賛同いただき、平賀ノブ会長にご挨拶を頂戴するなど、たくさんのご協力をいただきました。たくさんの方の女性の応援のおかげで成り上がったと思います。

「今後の抱負をお聞かせください。」

「これだけは叶えたい」と思っている信念があります。それは、「私に出会えてよかった」と思ってくれる人をたくさんつくりたいということです。ですから、弊社の今後についても「この会社と関わって良かった」と笑顔になってくれる人を、どれだけつくることができかが発展のポイントだと思っています。私のできることで、どれだけの人を幸せにできるか。できることからコッコッコと、着実に実績を積み重ねていくことで、結果は後からついてくると信じています。

【概要】

株式会社アートセレモニー

代表者名：佐藤 律子
 設立：2009年06月01日
 創業：2001年09月01日
 資本金：300万円
 事業内容：結婚情報誌「アートブライダル」(フリーペーパー)の発行や、結婚式場見学バスツアーを企画。結婚式場とお客さまをつなぐ結婚式場紹介業を柱に、婚活事業、独自に開発した「異性間コミュニケーション」研修を展開。ライフイベントをサポートする冠婚葬祭総合会社。
 所在地：仙台市青葉区国分町1-1-11 スズキビル2F
 TEL.022(721)1122
 ホームページ：http://www.artbridal.co.jp

街

やさしい気持で暮らせるように……。

たくさんの方が集まり、働き、笑い、泣き、そして暮らしてゆく空間、『街』…。そこで人々が明るく、健康に、そして何よりやさしい気持で暮らせるように、快適な都市環境をつくって行かなくては…。私たちはそう考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)